

令和3年6月定例会

市長説明要旨

山 鹿 市

本定例会において、令和3年度補正予算案をはじめ、関係諸議案のご審議をお願いするにあたり、市政運営に関するわたくしの所信を申し上げ、市民の皆さま並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

■日本経済と社会の動向

はじめに、日本経済は、政府が5月に発表した月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している」との見方が示されております。

また、地域経済に目を向けますと、熊本県の4月の有効求人倍率が、全国平均の1.09倍を上回る1.29倍となるなど、県内の雇用環境も少しずつ改善してきているところであります。

こうした中、国は、「激甚化・頻発化する災害への対応に取り組み、また新型コロナウイルスの感染対策にも万全を期す中で、雇用の確保と事業の継続を通じて、国民の命と暮らしを守り抜く。その上で、新型コロナウイルス感染症に対しては、引き続き、感染拡大の抑制を最優先に対策を徹底するとともに、経済への影響に対しては、重点的・効果的な支援に万全を期す。さらに、成長分野への民間投資を大

胆に呼び込みながら、生産性を高め、賃金の継続的な上昇を促し、民需主導の成長軌道の実現につなげる」としております。

しかし、新型コロナウイルスにつきましては、感染が世界中に蔓延する中、我が国においても感染拡大に歯止めがかからず、去る4月25日から4都府県を対象に3回目の緊急事態宣言が発令され、5月23日までに10都道府県に拡大されました。政策的に人の流れや経済活動をさらに抑制するため経済サイクルにブレーキがかかり、景気は一段と冷え込んでいます。一方、変異株の影響で感染者数のみならず重症化する感染者が増えることで医療体制が逼迫し、十分な医療サービスが受けられず自宅等で亡くられる方が出るなど、我々がかつて経験したことのない医療危機に直面しています。

そのような中、日夜感染のリスクと闘いながら、献身的に医療活動やワクチン接種業務に従事しておられる多くの医療関係者の方々、さらには、我々が日常生活を営むうえで、必要不可欠な業務を担っておられるエッセンシャルワーカーの方々に対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、民間企業をはじめ、多くの皆さまから、フェイスシールドやマスク、消毒液などの無償提供をはじめ、多額の寄附金もいただきま

したことに、改めて厚く御礼を申し上げる次第でございます。

■市政運営方針

それでは、「令和3年度における市政運営の基本的な方針」について申し上げます。

平成28年3月に策定した第2次山鹿市総合計画の前期基本計画では、平成28年度からの5年間の推進期間とし、産業、教育・子育て、医療・福祉・防災の各分野で、市民の誰もが、地域、職場、家庭において活躍できる協働のまちづくりに取り組んできました。

前期基本計画が令和2年度をもって終了したことを受けて進めてまいりました、令和3年度から令和7年度までを推進期間とする後期基本計画の策定作業は、現在、仕上げの段階を迎えております。この後期基本計画は、前期基本計画の検証結果を踏まえつつ、私が目指す本市の将来ビジョンである「山鹿創生」の実現に向け、重点的に取り組む施策の方向性を明らかにしたものとなります。

「山鹿創生」とは、長い歴史に培われた伝統・文化、市民の気質等を礎に、活力あふれる“ふるさと山鹿”を築くとともに、市民の夢と希望をかたちにすることです。

後期基本計画では、「山鹿創生」の実現に向けた取組を5つの先導

施策（リーディングプロジェクト）に位置づけており、今後、私が先頭に立って、これらの施策を強力に推進してまいります。

■ 予算編成の考え方

続きまして、令和3年度の予算編成方針について申し上げます。

令和3年度の本市の財政見通しは、歳入面において、生産年齢人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な税収減（市民税において前年度比8.2%減、固定資産税において前年度比4.5%減）が見込まれることから、一般財源の確保がより一層厳しくなる見込みです。一方、歳出面では、社会保障制度の充実により社会保障費が高止まりし、合併後の社会資本整備に充てた地方債の償還や、老朽化が進む社会インフラ及び公共施設の維持・更新費用が増加するなど、大変厳しい状況にあります。

しかし、そのような中であっても、限られた経営資源の「選択と集中」並びに事業執行の徹底した効率化を図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けたワクチン接種の円滑な実施、感染症の影響により疲弊した地域経済の回復、そして令和2年7月豪雨災害からの復興及び防災・減災対策の強化を最優先事項として取り組んでまいります。また、第2次山鹿市総合計画の「5つの基本目標」達成

に向けた取組と山鹿市総合戦略に掲げる地方創生に向けた施策を着実に推進することで、人口減少や過疎化といった構造的課題の解消と市民の満足度の最大化を目指してまいります。

こうした方針の下に編成しました、政策的な経費を含めた肉付け後の一般会計予算総額は、284億4,838万8千円であり、これに7特別会計と3企業会計を合わせますと、純計では479億9,612万8千円となっております。

■令和3年度に重点的に取り組む施策

それでは、ただ今申し上げました予算編成方針に基づき、「5つの基本目標」ごとに、令和3年度に重点的に取り組む施策の概要について申し上げます。

まず一つ目の基本目標は、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」であります。

市民の誰もが健やかな心と体を保ちつつ、安心して暮らせる環境の下で、「健康寿命の延伸」ができるよう支援してまいります。特に、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策については、最優先事項として取り組めます。

① 新型コロナウイルスワクチン接種体制の充実

新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、16歳以上の全市民を対象にワクチン接種を実施します。地元医師会などと連携して、医療機関で行う個別接種と公共施設等で行う集団接種の二本立てで実施し、安全かつ確実な接種体制の下、迅速な接種を進めてまいります。

② 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、対面接客での販売、サービス提供を行う事業者を対象に、感染防止機器等の購入費の一部を支援します。

③ 観光産業維持支援

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出・移動自粛等により、長期間にわたって大きな影響を受けている観光関連事業者の事業継続・維持を図るため、支援金を給付します。

次に、二つ目の基本目標「住みやすく子育てしやすい環境の充実」であります。

少子高齢化、人口減少に歯止めをかけるため、住居・交通などの生活環境の充実を図り、住みやすく子育てしやすい質の高い環境づくりに市民と協働で取り組めます。

また、市民生活を支える公共施設の長寿命化を推進するとともに、国土強靱化を踏まえた、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めます。

① 子ども・子育て世帯支援

子どもの健やかな成長を支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、18歳までの子ども医療費助成を引き続き実施します。また、1歳までを対象とする育児用品購入費助成については、月当たりの助成額を増額するとともに、これまでのオムツに加え乳児用ミルクを対象品目に追加し、子育て世帯への支援を拡充します。

② 移住定住支援

人口減少に歯止めをかけるため、旧来民郵便局に設置した山鹿暮らしサポート局を拠点に、移住等に関する相談支援体制を充実させ、専用ホームページによる情報発信の強化、空き家バンクへの物件登録の促進など、民間事業者と連携した受入態勢の構築と定住に向けた環境整備を推進してまいります。

③ 地方道路等整備事業

道路や橋梁は市民生活の基盤となる社会資本であり、良好な状態で次の世代につないでいくため、引き続き計画的な維持・更新を行うとともに、山鹿市国土強靱化地域計画に基づき、迅速に復旧できる災害に強

い道路や橋梁の整備を進めてまいります。

続いて、三つ目の基本目標「やまがを元気にする人材の育成」であります。

次の時代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てられるよう、教育・保育の環境整備に努めてまいります。

また、本市の基幹産業である農林業の活性化のため、「収益性の高い農林業」の実現を目指し、将来にわたり地域の農林業を支える担い手の育成に力を入れてまいります。

① 子どもたちの郷土愛と誇りを育む事業

小・中学生が、山鹿の歴史や偉人等について学べる機会や、市立博物館、方保田東原遺跡、県立装飾古墳館、近隣自治体の文化遺産をバスで巡り学ぶ機会を設けることで、郷土を愛し誇りに思う人材を育成してまいります。

② 山鹿創生塾(学びの場づくり事業)

中・高生を対象に各分野で活躍されている本市に関係の深い方々を講師に招いて「山鹿創生塾」を開き、「ホンモノ」に触れる学びの場を数多く提供しながら、自ら考え、確かな夢と希望を持った、将来の山鹿を担う

人材を育てていきます。今年度は中学生を中心に「文化・歴史に学ぶ」をテーマに開催します。

③ **農業担い手総合支援対策事業**

農林業従事者の高齢化や後継者の減少により将来の担い手が不足している中、本市においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規就農や親元就農を希望する若者の相談が増えています。そのため農業に関心がある若者に対し、関係機関と連携して農地の斡旋・農業研修・技術経営指導等を行うことで、新規就農者として確保育成し、定着を図ってまいります。

次は、四つ目の基本目標「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」についてであります。

基幹産業である農林業の活性化を図るべく、「収益性の高い農林業」の実現に向け、農地集積・集約化や基盤整備などの施策を積極的に推進してまいります。また、農林産物のブランド化や販路拡大等を推進するとともに、市内観光施設と中心市街地とのアクセスを強化するなど、観光客等の市内循環を図ってまいります。

① **農産物販売促進・6次産業化支援事業**

農業者の所得向上を図り地域農業を活性化するため、農業関係団体

や農業者が行う農産物のブランド化及び販路拡大、消費宣伝活動などの取組を支援します。具体的には、山鹿市宮古島交流推進協議会による本市農産物の沖縄県宮古島市への販路開拓、JA 普通作部会による特 A 米獲得のための試験圃の設置、各物産館による消費宣伝活動の取組などを積極的に支援します。

また、近隣自治体と連携し、新たな農業の魅力を引き出す商品開発の検討を行い、地域活性化及び本市の知名度の向上につなげてまいります。

② 稼ぐ観光地再生事業

これまでに磨き上げてきた地域資源や人材・人脈を活用し、行政や地元事業者など多様な関係者が一体となった「観光で稼ぐ仕組み」を構築することで、観光地としての賑わいを創出してまいります。

③ まちなみ再生事業

歴史的・文化的な価値を有する豊前街道に点在する空き家、空き店舗等を利活用することにより、新たな賑わい、集客の場を生み出すとともに、まちなみの再生を図ってまいります。

最後に、五つ目の基本目標「戦略的な行政経営と質の高い行政サービスの提供」であります。

市民の皆さまのニーズやご意見を的確に把握し、常に質の高い行政サービスを提供していくために、事務の効率化・省力化を進めながら、最小の経費で最大の効果を発揮できる行政経営環境の整備に取り組みます。

① 行政情報化推進事業

今や最新の ICT を活用した事務処理が不可欠となっています。そこで、職員が行う定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットが代替して自動化する「RPA」や、人工知能を用いて紙帳票を読み取りデータ化する「AI-OCR」を導入するなど、業務の自動化・省力化を進めます。来年度までを実証実験期間とし、効果検証を行ってまいります。

② 口座振替受付サービス導入事業

これまで市民の皆さまが税等の口座振替を申し込まれる際は、希望する金融機関に口座振替依頼書を提出する必要がありました。

そこで、キャッシュカードの読み取りシステムを新たに導入し、市役所窓口において、金融機関の手続きがオンラインで完了する仕組みにして、市民の利便性の向上を図ります。

■その他の重要事業

以上の重点施策のほかに、次の「重要事業」にも取り組んでまいります。

① 成年後見制度利用支援

認知症高齢者や単身高齢者等の増加を踏まえ、判断能力が低下した場合においても市民の権利や財産が守られる「成年後見制度」の適切な利活用を促進するとともに、関係機関等による権利擁護支援のネットワークを構築します。

② 消防庁舎施設整備

防災拠点となる消防署庁舎の耐震化に向けて、老朽化が進んでいる鹿北分署と東分署の整備を進めます。これにより、鹿北地域・菊鹿地域・鹿本地域の安全・安心な暮らしと、消防機能の更なる充実強化を図ります。

③ 資源ごみ施設管理及び中間処理事業

山鹿植木広域行政事務組合で運営するリサイクルプラザが本年度末をもって閉鎖されるため、市単独の資源ごみ処理システムを構築し、将来にわたって安定的なごみ処理と資源循環社会の実現を目指してまいります。

■結びに

以上、令和3年度の市政運営や予算編成にあたっての、私の基本的な考え方と施策の概要について申し上げます。

ところで、本日朝9時から、第2期の新型コロナワクチン接種の予約受付が始まっております。今回は必要な接種量を確保した上で、第1期予約受付から得た教訓を生かし準備しましたので、市民の皆さまにおかれましては、焦らず確実に予約手続きを行っていただきますようお願いいたします。

また、この時期自然災害への備えも大変重要であります。今年は、例年より早く梅雨入りしたこともあり、昨年の7月豪雨の教訓を忘れず、一層の緊張感をもって対応してまいります。特に、コロナ禍での避難所運営や避難所の開設がワクチン接種時期と重なる場合の対応については、事前に関係部署間で調整を行い、円滑な運営が行えるように万全を期してまいります。

こうした中、本市では、只今申し上げましたワクチン接種の予約情報や避難所開設などの防災情報のほか、各種の行政情報、生活情報などを、タイムリーに受け取ることができる「やまがメイト」の登録を推進しております。

「やまがメイト」は、スマートフォンや従来型の携帯電話、パソコン、タブレット端末などに登録が可能で、防災行政無線放送の情報も繰り返し聞くことができるなど、行政と市民を結ぶ便利な無料の情報サービスです。まだ登録されていない方は、是非登録をご検討いただきたいと思います。

最後に、少子高齢化や人口減少、過疎化など本市の抱える構造的課題に的確に対応しつつ、今後わたくしの公約である「山鹿創生」の実現に向け全力で取り組んでまいりますので、市議会をはじめ市民の皆さまの、なお一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

本日から19日間にわたりご審議いただきます議案は、条例5件、予算3件、人事案件1件の計9件と報告5件でございます。これら諸議案の内容につきましては、担当職員が説明いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます、市政運営に関するわたくしの説明といたします。